

平成29年度 今治市多々羅温泉指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市多々羅温泉
所在地	今治市上浦町井口7848番地1
指定管理者	<p>名称 株式会社 しまなみ</p> <p>代表者 代表取締役 村上 秀人</p> <p>住所 今治市大浜町1丁目丙232番地1</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>産業部 観光課</p> <p>TEL:0898-36-1541</p> <p>E-mail:kankou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	条例、規則、仕様書、施設の設置目的に基づいた管理運営に努めました	B	市民の福祉向上と健康の増進、また観光振興のための施設という設置目的を職員が十分に理解しており、評価できる。
利用状況	B	前年度と比較して一般利用者数は約200名の減となります。回数券も平成30年1月より販売を休止しています。	B	地域人口の減少による利用者減少は、止める事は難しい問題である。そのような中、観光客や地元の方など幅広い年齢層の利用に努めている。また、旅館の外湯として誘客を図るなど営業努力を行っている。
事業収支	B	旅行者や地域の方々にも利用してもらえよう努力しています。施設管理に気を配り、収支改善に努めました。	B	適切に会計処理が行われている。しかし、赤字となっていることは残念である。また、予算額と執行額に大きな差が見られる。
管理運営体制	A	昨年に引き続き、組織内研修を充実させたことや利用者の皆さんからの指摘などを即、接客に活かす体制を整えたことにより、問題は少なかったものと考えています。	A	少ない職員数で経費削減を図りながら小規模施設なりの管理運営を行っていることは評価できる。
管理運営業務	B	多々羅温泉の管理運営業務については、お客様に気持ちよくご利用いただけるように スタッフ一同維持管理業務に務めて参りました。	B	仕様書に基づき、概ね適正に業務が実施されている。

利用業務	B	指定管理者の任期満了にともない、広報活動を自粛いたしました	B	概ね適正に業務が実施されている。
その他業務	B	事故発生時の対応については、日頃より職員研修を行い、被害者の救済、保護などの応急措置を講じることや関係機関への連絡などについて周知徹底を図ることができていると考えています。ホームページ上にて、施設の案内、温泉の効能、入浴上の注意点を記載し、利用前の事前告知に努めました。	B	概ね適正に業務が実施されている。
修繕業務	B	レジオネラ菌の感染問題に対して、多々羅温泉においても循環設備の交換修繕を要望いたします。	B	概ね適正に業務が実施されている。施設が古く年々老朽化していることは否めない。温泉施設のため不特定多数の方が利用する施設ではあるが、大きな事故がなく運営できたことは評価できる。
備品管理業務	B	多々羅温泉の備品はどれも10数年が経過しており、老朽化が酷く故障が多く発生しております。故障が発生するたびに、今治市と協議して修繕や備品交換等の処置を行いました。	B	概ね適正な備品管理が行われている。施設が古く年々老朽化していることは否めない。
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	今治市公有財産事務取扱規則に基づき適切に使用許可申請を行いました。また、収益は施設の維持管理費に充当しました。	B	概ね適正に業務が実施されている。
自主事業	B	毎年3月恒例の出前健康広場が今年度は休止となり、それに併せた自主事業も休止といたしました。	C	自主事業については時期や内容を工夫して実施していただくことを望む。
地域団体との連携	A	地域団体との連携は施設を運営していくためには必要不可欠なものであり、今後も道の駅と温泉の連携を継続して参ります。	B	地域イベント参加者の割引制度を実施したことは評価できる。
利用者アンケート	B	ホームページ上にてアンケートフォームを設置し、利用後(施設外)からでも気軽にアンケートに答えられるような工夫を行いました。	B	アンケートの結果、多くの利用者から高評価を得ており、評価できる。
事故・苦情	A	本年も大きな事故もなく営業を行うことができました。	A	大きな事故や苦情もなく、適正に業務が実施されている。
指定管理者の経営状態				<p>○会計帳簿、貸借対照表及び損益計算書については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められる。</p> <p>○指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において将来に禍根を残す可能性の高い異常値は無い。</p>

## 総合コメント(市)

指定管理者は、関係条例及び施行規則並びに業務仕様書に基づき、施設の特性を踏まえた管理運営に努めており、指定管理者業務の履行が概ね適正に実施されていると認められる。指定管理業務のモニタリングの結果、指定管理者としては標準的なレベル以上の取り組みがあると認められた。幅広い年齢層の利用に努め、小規模施設なりの管理運営がされており、旅館の外湯として誘客を図るなど営業努力を行っている。またレジオネラ菌対策や事故が起きないように管理運営体制が整っている。

多々羅温泉は今治市の道の駅の中でも最も利用者数の多い「多々羅しまなみ公園」に近隣する、しまなみ沿線で唯一の天然の日帰り入浴施設であり、観光客やサイクリスト、多々羅キャンプ場利用者はもとより、住民の憩いの場として根付いた、地域から愛される施設の礎をつくっていただいた。

地域人口の減少とともに利用者数が減少しており、今後は大三島島内だけでなく、島外からの利用者、また観光客やサイクリストを取り込めるようPR活動等を引き継いだ指定管理者と十分に引継ぎを実施し、今後も協力的に道の駅管理運営者として連携していただきたい。